

和歌山工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	英語総合
科目基礎情報						
科目番号	0010		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 4		
開設学科	環境都市工学科		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	4		
教科書/教材	教科書：BIG DIPPER English Communication I (数研出版)、教科書準拠のワークブック 参考書：『総合英語 Be (3rd Edition) 』（いいずな書店）					
担当教員	濱野 公二					
到達目標						
1.教科書の内容や教師の話す英語のだいたいの内容を理解できる。 2.自分や身近なことについてある程度の確さ、流暢さ、即応性をもって理解し伝えられる。 3.辞書を用いれば、教科書や同レベルの文献の概略が理解できる。						
ルーブリック						
			理想的な到達レベルの目安			
Reading			簡単な語を用いて書かれた、個人的に興味のあるトピックや物語を、イラストや写真を参考にして理解することができる。			
Listening			自分自身や自分の身の回りの事柄や、買い物や外食の際の指示や説明について、ゆっくりと明確に話されれば、理解することができる。			
Writing			自分の経験、趣味や好き嫌いについて、辞書を利用しながら、簡単な語や基本的な表現を使って、また複数の文を用いて書くことができる。			
Speaking			前もって用意した上で、日常生活や科学分野の身近なトピックや簡単な事実について、複数の文を用いて意見を述べたり描写したりできる。			
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要		1.中学英語からの円滑な導入を図りながら、「聞く」「話す」「読む」「書く」の基本的技能に習熟し、技術者に必要な実践的英語力の基礎を養う。 2.さまざまな読み物を通して世界各国の文化の一端に触れ、理解を深める。 3.視聴覚教材を活用して、オーラルコミュニケーション能力の向上を図る。				
授業の進め方・方法		事前学習： 必ず予習して授業に臨むこと。予習とは、1) 90分の授業に際しては最低60分机に向かい、2) 単語の確認をして、3) テキストの内容の確認を行うことである。テキストの内容の確認に際しては、英文を必ず日本語に翻訳すること。日本語に翻訳できない箇所こそが、英語が理解できていない箇所である。そのような箇所がある場合は、「自分はこの箇所の英語がわかっていない」という自覚を持って授業に臨み、不明箇所の理解に努めること。 授業内学習：文法や新出単語の説明を理解し、予習で行った英訳の確認作業を行う。またリスニングとスピーキングのためにグループワークなどの演習を行う。 事後学習： 授業の内容については必ず復習すること。復習とは、1) 90分の授業に際しては最低30分机に向かい、2) 教科書・ノートを広げて、ノートに写した授業の内容を確認し、3) 『参考書』で関連箇所を確認することである。また必ず音声CDを聞き、声に出して英文を音読し、身体全体で復習すること。				
注意点						
授業計画						
前期	1stQ	週	授業内容		週ごとの到達目標	
		1週	オリエンテーション、〈スタディサポート・テスト〉			
		2週	LESSON 1 (Part1、Part2)		現在形、過去形、未来を表す表現、現在進行形、過去進行形を理解し、使用することができる。	
		3週	LESSON 1 (Part3)		現在形、過去形、未来を表す表現、現在進行形、過去進行形を理解し、使用することができる。	
		4週	LESSON 2 (Part1、Part2)		S-V-O構文のいろいろ、動名詞、不定詞を使用することができる。	
		5週	LESSON 2 (Part3) 、FUNCTION 1		S-V-O構文のいろいろ、動名詞、不定詞を使用することができる。「誘う／同意する・断る」表現を使用することができる。	
		6週	LESSON 3 (Part1、Part2)		受動態、S-V-O-O、S-V-O-C、S-V-O (=that節、wh-節、疑問詞＋to不定詞)を理解し、使用することができる。	
		7週	LESSON 3 (Part3)		受動態、S-V-O-O、S-V-O-C、S-V-O (=that節、wh-節、疑問詞＋to不定詞)を理解し、使用することができる。	
	8週	LESSON 4 (Part1、Part2)		現在完了、関係代名詞、分詞の形容詞用法を理解し、使用することができる。		
	2ndQ	9週	LESSON 4 (Part3) 、FUNCTION 2		現在完了、関係代名詞、分詞の形容詞用法を理解し、使用することができる。「依頼する・許可を求める」表現を使用することができる。	
		10週	中間試験の返却と解説、LESSON 5 (Part1)		形式主語 (It is ～ to不定詞句) 、比較表現を理解し、使用することができる。	
		11週	LESSON 5 (Part2)		形式主語 (It is ～ to不定詞句) 、比較表現を理解し、使用することができる。	
		12週	LESSON 5 (Part3)		形式主語 (It is ～ to不定詞句) 、比較表現を理解し、使用することができる。	
		13週	LESSON 5 (Part4) 、LESSON 6 (Part1)		形式主語 (It is ～ to不定詞句) 、比較表現、would / used to、過去完了、S-V-O-C (=to不定詞)を理解し、使用することができる。	
		14週	LESSON 6 (Part2、Part 3)		would / used to、過去完了、S-V-O-C (=to不定詞)を理解し、使用することができる。	

		15週	LESSON 6 (Part4)	would / used to、過去完了、S-V-O-C (=to不定詞)を理解し、使用することができる。
		16週	前期期末試験	
後期	3rdQ	1週	期末試験の返却と解説、FUNCTION 3	「興味・関心を示す／ほめる／感謝する」表現を使用することができる。
		2週	LESSON 7 (Part1)	分詞構文、S-V-O-C (=現在分詞)、S-V-O-C (=原形不定詞)を理解し、使用することができる。
		3週	LESSON 7 (Part2)	分詞構文、S-V-O-C (=現在分詞)、S-V-O-C (=原形不定詞)を理解し、使用することができる。
		4週	LESSON 7 (Part3)	分詞構文、S-V-O-C (=現在分詞)、S-V-O-C (=原形不定詞)を理解し、使用することができる。
		5週	LESSON 7 (Part3)	分詞構文、S-V-O-C (=現在分詞)、S-V-O-C (=原形不定詞)を理解し、使用することができる。
		6週	LESSON 8 (Part1)、FUNCTION 4	関係副詞、形式主語 (It is ~ that …)、つなぎ表現、「感情を表す／同意する」表現を理解し、使用することができる。
		7週	LESSON 8 (Part2)	関係副詞、形式主語 (It is ~ that …)、つなぎ表現を理解し、使用することができる。
		8週	LESSON 8 (Part3)	関係副詞、形式主語 (It is ~ that …)、つなぎ表現を理解し、使用することができる。
	4thQ	9週	LESSON 8 (Part4)	関係副詞、形式主語 (It is ~ that …)、つなぎ表現を理解し、使用することができる。
		10週	中間試験の返却と解説、LESSON 9 (Part1)	助動詞を含む受動態、関係副詞、仮定法過去を理解し、使用することができる。
		11週	LESSON 9 (Part2、Part3)	助動詞を含む受動態、関係副詞、仮定法過去を理解し、使用することができる。
		12週	LESSON 9 (Part4)	助動詞を含む受動態、関係副詞、仮定法過去を理解し、使用することができる。
		13週	LESSON 10 (Part1)	間接疑問、関係代名詞 (what)、one / another / other、強調構文を理解し、使用することができる。
		14週	LESSON 10 (Part2、Part3)	間接疑問、関係代名詞 (what)、one / another / other、強調構文を理解し、使用することができる。
		15週	LESSON 10 (Part4)、FUNCTION 5	間接疑問、関係代名詞 (what)、one / another / other、強調構文、「主張する／賛成する・反対する」表現を理解し、使用することができる。
		16週	後期期末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		定期試験	小テストなど	合計	
総合評価割合		70	30	100	
基礎的能力		70	30	100	